



SPEC & PRICE

●Booster Chip (パワー20~25psアップ/トルク7~8kg-mアップ) ¥126,000
E90/E91/E92/E93 N54/B30Aユニット専用

グループMのインテークとクロスのマフラーを装着しノーマルより馬力向上していた335i

製品自体はシンプルなブラックボックスで20ps程度の大きさ。カプラーオンで装着可能

3Dデザイン Booster Chip E92・335i

©スリー・ディー・デザイン ☎03-6909-6612 <http://www.3ddesign.jp>

ハシリヲカエル

カプラーオンですぐさま違いを実感できる 335i専用チューニングアイテム

TEXT BY UI AKINORI

3Dデザインがリリースしているブースターチップは、335iのツインターボエンジン専用のチューニングアイテム。どのようなアイテムで、どういった効果を生むのかをパワーチェックテストを交えて紹介していこう。

まず基本的にこのアイテムは、ターボの過給(ブースト)圧を標準設定値より高めることでパワーアップに貢献する。ターボチューンでは過給圧アップが手取り早いチューニングなのだが、それを簡単に装着できる点がポイントだ。一定圧のブーストコントローラーだと理解してもいい。TMAPセンサーのハーネスコネクタに割り込んで結線するだけと、いたって簡単な作業で済む。いわばサブコンピューターのような働きでももちろんDMEに直接悪影響を及ぼさない。実質的には安全マージン内でコンマ2kg/cm²ほどブーストがアップする。また圧力や吸気温度をセンシ

ングして必要以上のブーストアップを起こさず、エンジンを保護する安全機能も備えている。

今回は335iセダンでテストしているが、この車両はすでに吸気系と排気系をチューニング済み。ノーマルでも321.6psを計測している。ブースターチップを装着後はそれが356.8psへとアップ。見ても吹け上がりのシャープさとエンジン音の変化は実感できるほどで、実際に乗ってみればだれでもが体感できる変化だといえよう。ちなみに135iでも使用可能だという。335iユーザーには注目のアイテムである。

これまでの開発テストでも23.6ps、8.1kgmの向上も確認済み。今回は吸排気系のチューニング済みだったことで35ps近い向上を果たした。DMEのエラー表示等の心配も不要だ。なおブースト圧や空燃比を変更するアイテムやプロセッサーバルブとの併用は厳禁とのこと



ブースターチップを装着後の測定では、飛躍的なパワーアップを実現している。ターボ車ならではの結果とはいえ、手軽にチューニングが可能であるのはとても魅力的。実際に乗り比べてもその違いは歴然だ

それぞれの測定結果を比較するとパワーカーブが明らかに異なっているのが理解できるはず。左が装着前後のピークパワー比較のグラフで、中が装着後、右が装着前のパワーカーブとなる

